

# コミュニティ通訳という仕事

定住外国人の生活に関わる通訳の仕事を「コミュニティ通訳」といいます。在日外国人数は増加を続けており、行政、司法、医療、教育等、社会生活の様々な場面で、日本語を解さない人びとを支援する通訳者が必要です。静岡県も在留外国人数が全国 8 位(2016 年末 7 万 9836 人)となっており、コミュニティ通訳の充実が求められています。

本講義では、静岡県でコミュニティ通訳者として活躍する 3 名の方々にお仕事の内容、通訳の楽しさや難しさ、コミュニティ通訳になる方法、外国語の勉強方法などについてお話をうかがいます。

**日時** 2017 年 11 月 6 日(月)3 限目 13 時～14 時 30 分

**場所** 3315 教室(国際関係学部棟 3 階)

どなたでも参加可能です。事前連絡は不要です。お気軽に御参加下さい。

## 講演者プロフィール

### 福井 ユミ(ふくい・ゆみ)

現在、(公財)静岡県国際交流協会の医療通訳者(スペイン語・ポルトガル語)として静岡済生会総合病院で働きながら、介護員として小鹿なでしこ苑で勤務。パラグアイ出身の日系二世。1998 年に来日、2011 年から(公財)静岡県国際交流協会外国人支援アドバイザーとして在住外国人の行政や日常生活の手続に関する相談等にスペイン語とポルトガル語で対応。医療や DV 対策・女性相談、警察や少年鑑別所、弁護士相談等、多様な分野において通訳経験を持つ。

### 土屋 真理(つちや・まり)

現在、静岡県立大学国際関係学部非常勤講師(フィリピン語)。フィリピン出身、1985 年に来日、1997 年から静岡市国際交流協会の電話・対面的相談通訳、警察、弁護士会、検察庁、裁判所、病院等で英語とフィリピン語の通訳をしている。2015-16 年度、静岡市多文化共生懇話会座長。

### 高畑 幸(たかはた・さち)

現在、静岡県立大学国際関係学部准教授。大阪外国語大学(現・大阪大学)大学院在学中の 1993 年からフィリピン(タガログ)語の法廷通訳を始める。担当した事件数は約 500 件。2014 年度、静岡地方裁判所の法廷通訳基礎研修講師。

お問い合わせ:国際関係学部 水野・高畑・森・坂巻

本講義は平成 29 年度静岡県立大学教員特別研究推進費の助成を受けたものです。